



① ディスク グラフォフォン

Disk graphophone

三光堂が発売した大型蓄音機です。三光堂は、日本で最初の蓄音機専門店として、明治32年(1899)に浅草で開業しました。三光堂は、後に日本蓄音機商会(日本コロムビアの前身)に吸収されました。

② SPLレコード

Standard Play Record

③ ビクター蓄音機E型

Victor phonograph typeE

レコード針がホーンの後側についている円盤式蓄音機です。初期の頃の蓄音機には、このような直線的な「ストレートホーン」が使われていました。その後、ホーンの形状にも改良が加えられ、開口部が徐々に大きく広がっていく「エキスポネンシャル(指数関数)ホーン」が使われるようになっていきます。

[アメリカ製(VICTOR TALKING MACHINE 社)/20世紀初め]

④ ニッパー陶器置物

NIPPER

"His Master's Voice"の忠犬ニッパーを、原画を元に陶器で再現した置物です。

[ビクターエンタテインメント社製/2013年/大阪芸術大学所蔵]

⑤ 忠犬ニッパー

His Master's Voice

この絵は、蓄音機から聞こえる亡くなった主人の声に耳を傾けているテリア犬(忠犬ニッパー)の様子を描いています。アメリカで1901年に設立されたビクター・トーキング・マシン社のトレードマークとして採用されました。兄弟会社であるイギリス・グラモフォン社でも1907年からこの絵を採用し、タイトル「His Master's Voice」を略した「HMV」の愛称で馴染まれるようになりました。

[フランス・パラウド/(イギリスの画家)1839年/大阪芸術大学所蔵]

⑥ ベルリナーの円盤式蓄音機(グラモフォン)

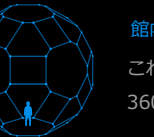
Emil Berliner's Gramophone

ドイツ出身のアメリカの発明家エミール・ベルリナーは、1887年にそれまでとは異なる円盤式の蓄音機を発明しました。円盤式レコードはプレスによる大量生産に向いていたため、安価に製品化でき、円盤式蓄音機が普及するようになっていきました。

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcmmit.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.